



子ども会 あんぜんシート

2020年7月 福岡市子ども会安全部



1 感染症防止を踏まえた子ども会活動の注意点について

- コロナウイルス感染症に注意しながら、活動を再開された子ども会も多いと思います。感染症の防止にあたっては、①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いが言われており、子ども会活動にも取り入れて行く必要があります。

〔感染症防止を踏まえた子ども会活動の注意点〕

- 保護者と連携し、家を出る前の健康チェックと検温を徹底しましょう。
また、家族に熱や風邪症状がある場合は、参加を見合わせてもらいましょう。
- 集合時や行事中にも、子どもたちの健康観察を必ず行い、必要に応じて検温を実施しましょう。活動の際、体温計は必ず準備しておいてください。
- 3つの条件（換気の悪い密閉空間、多くの人が密集、近距離での会話や発声）が重ならないようにするとともに、一つひとつが発生しないようにしましょう。
- 活動の前後、トイレの後、飲食の前後など、こまめに手洗いをしましょう。
（アルコールを含んだ手指消毒液の使用でも可）
- 多くの人を手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）は、行事の前後に消毒液を使用して清掃を行いましょう。
- エアコン使用時であっても、30分に一回以上は換気を行いましょう。
- 活動にあたっては、必ずマスクを着用しましょう。
ただし、気温・湿度が高い中では、熱中症のリスクが高くなることから、屋外で人と少なくとも2メートル以上の十分な距離が確保できる場合には、マスクをはずしましょう。
- 列を作る場合は、距離をおいて並べるよう、目印を設置しましょう。
- 万一、感染が発生した場合に備え、参加者の記録を漏れなく行い、少なくとも1ヶ月以上は保存しましょう。

- その他、「子ども会活動における注意点」の詳細は、市子連安全部のウェブサイトに掲載しています。子ども会活動が、感染の原因にならないよう、皆さんで注意していきましょう。



（裏面に続きます）

2 熱中症の予防について ～今年も暑い夏が予想されています～

- 今年は、感染症対策で長期に渡り外へ出られなかったため、体力の低下や暑熱順化ができていないなど、例年になく熱中症のリスクが高い状態にあります。
- 子ども会活動における熱中症の予防には、4月から10月にかけて、毎日発表される暑さ指数（WBGT）の活用を推奨しています。

種別	基準	注意事項
嚴重警戒	暑さ指数 28℃以上 31℃未満	・激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は、できるだけ避ける。 ・運動は頻繁に休息をとり、水分・塩分の補給を行う。 ・体力の低い人、暑さになれていない人は運動中止。
危険	暑さ指数 31℃以上	・特別の場合以外は運動を中止する。 ・特に子どもの場合は中止すべき。



- 夏の活動にあたっては、日陰でこまめな休憩を行うとともに、水分補給をプログラムに組み込み、行事の中で一斉に実施するといった工夫をお願いします。

3 自転車保険の加入義務化について

- 福岡市では、2020年10月から、自転車保険の加入が義務化されます。子どもの場合、その保護者が加入する必要があります。
- 自転車を利用中の事故により、他人にけがをさせた場合など、相手の生命又は身体の損害を補償する保険で、毎年度の初めに募集している、福岡市子ども会の自転車保険などが該当します。
- なお、安全共済と同時に加入している「子ども会賠償責任保険」は、行事中の事故のみが対象です。活動の行き帰りの事故で、他人にけがをさせた場合などは、保険の対象になりませんので、ご注意ください。

